

ニライの都市をめぐす



# 議会だより

No. **61**  
 2010年 9月定例会  
 発行  
 2010年11月



平成21年度一般会計・特別会計決算認定 .....	2~7
条例の改正 請負契約 .....	8~9
平成22年度補正予算 .....	10
抗議決議・意見書 .....	12
いっばん質問 <b>8人が登壇!</b> .....	13~18
議会構成 .....	19

北谷町平和旬間事業朗読劇「かじふち」に頑張った子どもたち



平成21年度一般会計決算

全会一致認定

# 北谷町の家計

## 北谷町が主に使ったお金は…?

民生費 29億6,417万円 26.8%	土木費 16億3,956万6千円 14.8%	総務費 15億9,429万6千円 14.4%	教育費 13億3,097万円 12%	公債費 10億1,047万1千円 9.1%	議会費 1億2,381万3千円 1.1%	その他 21.8%
----------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------	-----------------------------	----------------------------	--------------

歳出総額 110億6,428万9千283円

**老人福祉や児童福祉、障がい者福祉の運営など**

**民生費**  
29億6,417万円  
(26.8%)

**町道の舗装補修、道路の新設改良、河川の整備、町営住宅建設など**

**土木費**  
16億3,956万6千円  
(14.8%)

**交通安全対策、振興計画策定、庁舎の管理など**

**総務費**  
15億9,429万6千円  
(14.4%)

**小中学校や幼稚園の教育環境の整備、生涯学習、文化財保護など**

**教育費**  
13億3,097万円  
(12%)

**町が学校を建てたり、道路を造ったりするときに借りたお金を返すためのもの**

**公債費**  
10億1,047万1千円  
(9.1%)

**町議会を運営するための経費**

**議会費**  
1億2,381万3千円  
(1.1%)

# 簿はどっなっているか?

**歳入総額 118億1,093万3千38円**

**歳出総額 110億6,428万9千283円**

歳入歳出差引残高 7億4,664万3千755円

— 繰越明許費 3億3,527万6千円

**実質収支額(黒字) 4億1,136万8千円**

※繰越明許費とは…年度内に終わることのできない支出を、次年度に繰り越す経費

<b>どこから お金が 入ったか?</b>	<b>自主財源</b> 北谷町が自主的に収納することができる財源で、財産収入・町税(個人町民税・固定資産税・軽自動車税・法人税など) <b>58億8,466万1千円 構成比 49.8%</b>
	<b>依存財源</b> 国や県から割り当てられる補助金や交付金 <b>59億2,627万2千円 構成比 50.2%</b>

**町税 決算額 36億2,154万545円** 20年度に比べて **UP** 1億6,320万3千円アップ

町税の中身は…?

町民税 個人	11億2,839万7千554円
法人	1億7,813万5千900円
固定資産税	20億6,770万7千264円
町たばこ税	1億1,211万2千727円
軽自動車税	6,480万4千800円
入湯税	2,093万8千500円

**景気低迷から町民税(個人所得割・法人税)が減少** **DOWN**

**新增築家屋の増加から固定資産税が増収** **UP**

**町税全体では約1億6,320万3千円の増収** **UP**



# 平成21年度はこんな事をやりました!!

## 美浜保育所をリニューアル



美浜保育所防音整備事業  
6,158万5千円

## 公共事業で移転を必要とする墓の集積移転



新川墓地公園整備事業  
1億498万2千円

## 晴天届く君の風みなぎる 闘志が夏に輝く



全国高校総体推進事業費  
728万4千円

## 幼稚園・学校活動が円滑に展開



北谷町立学校特別支援教育支援員派遣事業  
1,274万9千円

## 防犯・防災対策の向上

地区公民館・各小・中学校に  
16基設置



太陽光発電LED防犯灯設置工事業  
1,647万9千円

## 良好な市街地の形成



桑江伊平土地区画整理事業  
3億1,417万2千円

## 子育てする家庭の緊急サポート



ファミリーサポートセンター事業  
840万円

## 利便性及び住環境が向上

浜川千原4号線改良事業  
8,094万5千円

## 定額給付金支援事業 4億1,512万2千円

給付対象者一人につき1万2千円  
(65歳以上及び18歳以下は2万円)

## 決算の概要

平成21年度北谷町一般会計歳入歳出決算は、歳入総額118億1千93万3千38円、歳出総額10億6千428万9千283円で、歳入歳出差引残高は7億4千664万3千755円。このうち繰越明許費の3億3千527万6千円は、翌年度へ繰り越すべき財源となっており、差し引き4億1千136万8千円が実質収支額(黒字額)。

平成21年度決算額の歳入歳出総額を前年度決算額と比較すると、歳入で13億5千512万4千円、13%の増。歳出では12億4千536万2千円、12%の増。歳入は、地方譲与税や地方交付税などの主な依存財源が経済情勢の落ち込みなどの影響から減少したものの、自主財源の柱である固定資産税が増加したこと、計上一般財源は、前年度と比較して約1千800万円の増額を確保している。

等の影響から人件費が減少したこと、地方債残高の減少により、各種の財政指数は改善している。財政力指数は0.01ポイント上昇し、0.62ポイント。財政構造の健全性を示す公債費比率は2.1%改善され、12.7%に減少。平成21年度の実質収支は、約4億1千100万円の黒字。財政構造の弾力性に示す経常収支比率は82.6%で、前年度86%に比べて3.4%の減となり改善。要因は、職員給与費において給料及び期末手当が減少したこと、地方債残高の減少により元利償還金が減少したこと、補助金等については、一部事務組合への経常的な負担金が減少したこと、また地方収入の増加により計上一般財源等が増加した等の影響から前年度に比べて経常収支比率の改善が図られた。

問 美浜駐車場管理運営事業分担金・延滞金は何件分か。  
答 平成21年度分担金は13社からの分担金。滞納分は、1社。  
問 固定資産税の負担調整は、国有提供、あるいは所在市町村の施設提供の部分でも変化はないか、軍用地については負担調整はないのか。  
答 土地の負担調整は、平成18年度から行われてきた。現在、固定資産税の課税標準額と評価額に差がある。本来ならば評価額と課税標準額は同じ額にならなければならぬが、課税標準額の低い土地を評価額に緩やかに近づけるために固定資産税の負担調整を行う。  
軍用地の課税標準額は、一般の土地よりは低く、これもある程度年数をかけて負担調整を行う。同じく5%ずつ上がっていく。

25年度あたりに職員の退職がピークになるが、それ以降は落ち着いてくる。  
問 基準財政需要額が前年度と比較して増となったために、交付決定額が1億4千800万円余り減となっている。それが基準財政収入額が増えるのと、交付額についてどういう変化があるのか。  
答 前年度と比較して、交付税が減っているのは、固定資産税等の収入増があり、自主財源が増えていることが主な要因。(収入額が増えていくと基本的には交付税が減っていく要因になる。)  
問 団塊世代の退職等の影響で6千200万円余り人件費が減となっている。次年度以降、どのような影響があるのか。  
答 退職職員と新採用職員との給与の差額分と退職に伴う職員の不補充分は人件費が減っている主な要因。平成25年度あたりに職員の退職がピークになるが、それ以降は落ち着いてくる。

問 平成21年度の不納欠損額は540件で3千663万6千812円。今後、不納欠損額の対応はどうしていくのか。  
答 不能欠損を無くすためにも、税の相談等も含め調査しているか。  
問 公債比率は、平成20年度と比較して平成21年度は減っているが、今後の見通しは。  
答 基本的に公債費比率を上げない方針。この抑制についても今後とも上げない方向で予算編成には努める。  
監査報告  
平成21年度の決算審査を行った。予算の執行は、その目的に沿って適正に実施されており、各種の事務事業は、初期の成果を納めているものと認める。しかし、財政を分析・検討する中で、いくつかの課題があるものと思われる。特に経常収支比率、公債費比率、財源確保については今後検討していただきたい。

## 質疑応答

## 監査報告



# 平成21年度特別会計・水道事業会計決算

## 北谷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

歳入総額	33億2,977万8千631円	認定
歳出総額	31億9,274万4千135円	
歳入出差引残高	1億3,703万4千496円	

平成20年度の決算状況と比較すると、歳入は1億5,822万8千959円(4.99%)の増。  
歳出は249万1千399円(0.08%)の増。

## 北谷町老人保健特別会計歳入歳出決算

歳入総額	3,636万1千965円	認定
歳出総額	3,513万2千321円	
歳入出差引残高	122万9千644円	

老人保健特別会計は、平成19年度をもって制度が廃止されたことから、精算業務が主な業務となっている。

平成20年度の決算状況と比較すると、歳入は1億8,329万755円(83.45%)の減。  
歳出は1億4,941万8千143円(80.96%)の減。

## 北谷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

歳入総額	2億3,61万9千707円	認定
歳出総額	2億2,791万4千463円	
歳入出差引残高	270万5千244円	

平成20年度の決算状況と比較すると、歳入は1,779万435円(8.36%)の増。  
歳出は1,697万415円(8.05%)の増。

## 北谷町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

歳入総額	10億7,060万6千312円	認定
歳出総額	10億6,567万2千423円	
歳入出差引残高	1,093万3千889円	

## 北谷町水道事業会計歳入歳出決算

収益的収入	8億3,226万1千924円	認定
収益的支出	7億1,106万7千743円	
資本的収入	5,357万2千円	
資本的支出	1億6,213万2千461円	
繰越剰余金	1億1,814万2千170円	

## 北谷町水道事業剰余金処分

当年度未処分利益剰余金	1億1,814万2千170円	可決
減債積立金	1億1,814万2千170円	

減債積立金とは ▶ 将来の企業債償還に充当するために利益から積み立てた金額

平成21年度北谷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

委員会質疑

Q 出産一時金の実績は。

A 支払実績は108件。支払方法は現物給付。医療機関から北谷町に請求する。

Q 葬祭費108万円の内容は。

A 1件当たり1万5千円で申請主義である。

Q 人間ドック事業の実績は。

A 平成21年度は、500人の定員に対し、354人が申込み、280人が受診。受診料は9千円、補助額は251万円。

本会議質疑

Q 平成21年度から徴収率が91%を割ると国庫支出金は減額となっている。平成22年度の徴収率は何か。ペナルティーは。

A 徴収率は90.4%であり、次年度交付金が1千580万6千円減額される。

主な質疑と答弁

Q 今年度の主な収入と支出は

A 収入は、町民と米軍基地からの水道使用量等で8億3千226万1千924円。  
支出は、県企業局から購入する受水費、固定資産の原価償却費及び企業債利息や消費税等で7億1千105万7千743円である。

Q 企業局から幾らで購入し町民へは幾らで売るのが、町民と米軍では価格が違うのか…

A 基本料金で、1m当たり、企業局からは税込み107円で買って、町民へは税抜き110円で売っている。米軍と民間は基本的に変わらない。





# 請負契約 可決

# 条例の改正 原案可決

## 北谷町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

### 概要

保険料の徴収に関する事項は、市町村条例で定めることとされているが、市町村条例については、制度施行前に国から示された準則に基づいて制定されているものの、過誤納金については規定されていなかったため、現行の条例に規定がない状況である。  
今回、沖縄県後期高齢者医療広域連合会から示された条例改正案に基づいて、過誤納金の取り扱いに関する事項を明確に規定し、当該事務の適正な執行を図るための改正である。

## 北谷町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

### 概要

北谷町桑江伊平地区地区計画の区域内において、建築物に関する制限を定めることにより、当該区域内における適正な都市機能と健全な都市環境を確保することを目的に条例の一部を改正する。  
建築物の用途の敷地面積の最低限度を165㎡以上、高さの最高限度を30m以下、樹木の植栽や芝生、屋上や壁面緑化を含め、緑化率の最低限度を敷地面積の10%、15%とし、垣やさくの構造等の制限を定めるとする改正である。

## 人権擁護委員の推薦

委員の任期満了に伴い、新たに候補者を推薦するため人権擁護委員法第6条3項の規定に基づき、議会の意見を求める。  
北谷町議会は、諮問のとおり適任と認め、答申することに決定した。

## 監査委員の選任

委員の任期満了に伴い、新たに監査委員を選任するため地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を得る必要がある。  
**新任**  
仲村光徳（議会選任）

## 北谷町新川墓地公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

### 概要

墓地区画管理に伴い、代表地番を変える必要が生じたことから地番を変更する。  
変更内容は、北谷町新川墓地公園の設置及び管理に関する条例第四条中の「北谷町字玉上新川原327番地2」を「北谷町字玉上新川原326番地」に改める。

## 北谷町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

### 概要

議員報酬については、これまで議長及び副議長にはその選挙された当月分から、委員長及び議員にはその職に就いた当月分から月額支給となっていたが、県内の市町村の状況並びに昨今の社会経済状況等にかんがみ、月の途中から本町議会議員となった者又は本町議会議員でなくなった者の議員報酬について、日割計算により支給することに改正する。

## 人権擁護委員の仕事を？

人権擁護委員は、地域住民の中から人権擁護に理解のある人を市町村長が推薦し、法務大臣が委嘱した民間の方々。  
人権擁護委員の仕事は？  
・住民の人権が侵されないように監視する。  
・人権が侵された人がいた場合は、相談相手になって救済する。  
・人々に正しい人権の考え方を広めること。

## 平成22年度桑江伊平地区道路等工事(その2)請負契約

概要…区画整理事業区域内の南側の道路築造工事。道路幅員4m～32m。施行延長772m。  
1. 契約金額 金6千704万2千500円  
2. 契約の相手方 北谷町字玉上218番地 崎原土建株式会社  
代表取締役 崎原盛光



工事予定箇所(点線部分)

## 桑江伊平地区排水路工事(H22その1)請負契約

概要…桑江伊平地区区画整理事業地内における雨水暗渠排水路として整備を行う。  
1. 契約金額 金1億2千240万9千900円  
2. 契約の相手方 嘉手納町字水釜364番地2 株式会社 大興建設  
代表取締役 宮里辰秀

## 浜川小学校校舎解体工事請負契約

概要…校舎老朽化に伴い、改築のための校舎解体工事。  
1. 契約金額 金6千366万1千500円  
2. 契約の相手方 嘉手納町字水釜112番地 有限会社 福地組  
代表取締役 福地裕吉



校舎の全面改築に向け、解体工事が進む浜川小学校

## 北谷町トレーニング運動施設新築工事(建築)契約

概要…高齢化社会に備え、医療費の抑制と健康で元気な中高年齢層の増加を目的に整備を行う。  
1. 契約金額 金9千628万5千円  
2. 契約の相手方 北谷町字浜川48番地 旭建設株式会社  
代表取締役社長 翁長淳



北谷公園内に新たにトレーニング運動施設を整備

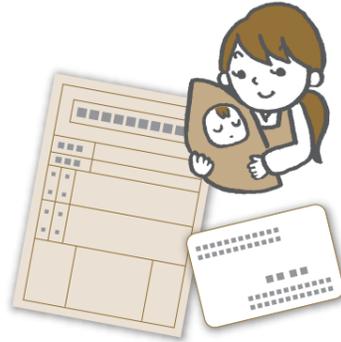
## 美浜2号線道路改良工事請負契約(変更)

概要…植栽規格の変更と追加。既設配水管の撤去と道路側溝の仕様変更追加工事。  
1. 当初契約額 金1億1千954万2千500円  
2. 改定増額 金565万9千500円  
3. 改定後の契約額 金1億2千520万2千円  
4. 契約の相手方 北谷町字玉上218番地 崎原土建株式会社  
代表取締役 崎原盛光



### 国民健康保険特別会計

補正前の額……………34億3,633万7千円  
 補正額……………6,538万8千円  
 予算総額……………35億172万5千円



#### 歳入の主な補正内容

- ・国民健康保険税の2億117万9千円の補正減。
- ・繰入金は1億114万8千円の増。
- ・繰越金は1億2,703万4千円の増。

#### 歳出の主な補正

- ・後期高齢者支援金等は3,336万2千円の減。
- ・基金積立金を6,899万9千円の増。
- ・諸支出金は2,11万3千円の増。

### 後期高齢者医療特別会計

補正前の額……………2億4,061万5千円  
 補正額……………304万2千円  
 予算総額……………2億4,365万7千円



#### 主な内容

- ・歳入は人件費の増額による繰入金、決算確定に係る繰越金の増。
- ・歳出は人件費の増による総務費の増、後期高齢者医療広域連合納付金等の増。

### 公共下水道事業特別会計

補正前の額……………14億3,374万1千円  
 補正額……………3,260万8千円  
 予算総額……………14億6,634万9千円



#### 補正予算の主な内容

- ・歳入は繰入金及び繰越金の増額。諸収入は減。
- ・歳出は総務費及び施設費の増、諸支出金は減。

# 平成22年度補正予算

原案決  
可

## 一般会計

補正前の額……………125億2,637万2千円  
 補正額……………3億9,087万6千円  
 予算総額……………129億1,724万8千円

#### 歳入の主な増額

- ◆地方交付税 1億8,419万6千円
- ◆国庫支出金は、まちづくり交付金・新川公園整備事業等 2,454万円
- ◆繰越金は、21年度の決算に基づく差額分 3億1,136万7千円
- ◆地方債は、22年度の普通交付税の決定・臨時財政対策債の差額分 485万4千円

#### 歳入の主な減額

- ◆地方特例交付金は、児童手当特例交付金の減 633万1千円
- ◆繰入金は、財政調整基金繰入金減・フィッシャリーナ事業減等 1億3,119万6千円

#### 歳出予算の主な増額(性質別経費で説明)

- 歳出の主な増額
- 物件費は、職員の産休・育休・病休等に係る代替臨時職員賃金等 2,945万5千円
- 維持補修費は、役場・学校・地区公民館等 863万9千円
- 扶助費は、要保護・準要保護児童対象者の増 316万3千円
- 補助費は、認可外保育施設の改修費・女性がん検診費等 960万6千円
- 普通建設費事業費は、フィッシャリーナ整備・桑江17号線・宇地原公園・浜川小学校校舎改築工事等 5,896万8千円
- 積立金は、財政調整、普通財産運用・博物館建設基金等 2億1,482万3千円
- 繰出金は、国民健康保険・後期高齢者医療・下水道特別会計 8,444万円

#### 歳出の主な減額

- 人件費は、非常勤嘱託職員の報酬・産休・育休・病休等の減 1,872万8千円



フィッシャリーナ地区と浜川漁港を結ぶ連絡橋の建設予定箇所(点線部分)

主な質疑としては、  
 Q 県の支出金の認可外保育施設改善費270万円の内容は。  
 A この事業は、沖縄県保育所入所待機児童対策特別事業で、今回の補正は、施設の改善に充てる経費である。  
 Q フィッシャリーナ整備事業について、今回、工事発注が間に合わず、補正減になっているが、事業全体の予算はどのようになっていくのか。  
 A フィッシャリーナ地区の平成22年度の事業費は、10億5千500万円余り予定している。今回の連絡橋の建設工事の全体事業費は、7千500万円計上している。工法の変更によって、約2千700万円になるが、今回の補正で、その7千500万円を減額した当初予定の橋梁の計画は、プレテンションホロー桁で橋長が23.86メートルで、当初の計画では、まず下部杭を設置して、その上に上部杭を設置する方式になっている。



# 抗議決議・意見書

決議意見書は各関係機関に送付

原案可決

**FA18ホーネット戦闘攻撃機の飛来に対する抗議決議・意見書(概要)**  
嘉手納基地へのFA18ホーネット戦闘攻撃機及びAV8Bハリヤー戦闘攻撃機の飛来に対する抗議決議・意見書(概要)

6月25日から8月中旬、紀事項の速やかな実施要求(要請)。

米海兵隊右国基地所属のFA18ホーネット戦闘攻撃機12機が、嘉手納基地に一時移駐。  
同機の飛来訓練は5月、6月にも！  
嘉手納基地の恒常的負担！

8月上旬から約1か月余の予定で岩国基地所属のFA18ホーネット戦闘攻撃機12機とAV8Bハリヤー戦闘攻撃機8機が、同基地に一時移駐。  
5月、6月の飛来と機数、移駐期間が同じ！  
再三の抗議無視！  
5月未から米ニューメキシコ州ホマロン空軍基地所属のF122Aラプター戦闘機12機が、約4か月間の長期、訓練中。  
更に20機が一時移駐。  
騒音被害の増大明らか！  
度重なる外来機の飛来、訓練に、嚴重抗議！左記



- 記
- 1 外来機の飛来訓練中止。
  - 2 大量殺傷兵器(クラスター爆弾)の使用を止め、即時撤去。
  - 3 外来機の飛来状況や訓練の内容を速やかに公表。
  - 4 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化をしない。

原案可決

**航空機シエツト燃料流出事故に対する抗議決議・意見書(概要)**

9月27日午後10時30分頃、米空軍嘉手納基地中央に位置する南側滑走路の燃料輸送タンクから、ジェット燃料JP18が約2,950リットル(ドラム缶15本分)流出事故発生。同基地内には地下水をくみ上げる井戸があり、北谷町以南に送水。土壌汚染により、水質汚染や環境汚染の被害拡大が予想される重大な事故！同基地内ではたびたび燃料漏れ事故が発生。嘉手納基地の安全管理体制に対し強い怒りと不安！

関係自治体への事故の通報は、発生から約20時間後。基地周辺住民の健康や環境への配慮が欠如。県による立入調査も目視だけに制限。米軍の町民軽視な対応は甚だ遺憾であり、到底容認できない。

- 記
- 1 事故原因を徹底的に究明、結果の速やかな公表。
  - 2 整備点検及び安全管理の厳重と、再発防止を図る。
  - 3 事故に関する情報の伝達を速やかに行う。
  - 4 国内法に基づく環境調査、検証等の基地内立入を認める。
  - 5 現状回復を徹底して行う。

原案可決

**米軍普天間飛行場「県内移設の日米合意」の撤回を求める抗議決議・意見書(概要)**

政府は5月28日、沖縄県の頭越しに米軍普天間飛行場の移設先を「沖縄県名護市辺野古崎地区及びこれに隣接する水域」にすることを明記した「日米合意」の共同声明を出した。これは、米軍普天間飛行場「県内移設」に断固反対という沖縄県民の総意よりもアメリカ政府の意向を最優先。民主主義を根底から

うさび生産と製糖業が営まれ、地域社会において極めて重要な役割、地位を占めている。  
生産者の高齢化の進行、機械化や土地基盤整備の遅れ等で、生産性向上が進展しない。離島地域を基盤とする含み糖企業は、黒糖の販売不振が深刻化し経営悪化。  
平成23年度のさとうきび価格・政策の確立については、さとうきび生産の将来展望を確立するために、再生産に向けた生産者所得の確保と、製糖企業の経営安定を要請する。

- 記
- 1 現行糖価調整制度の堅持と財源確保
  - 2 さとうきび経営安定対策における交付金水準を維持する。
  - 3 甘しや糖企業の経営安定対策を講ずる。
  - 4 さとうきび生産振興対策の充実を図る。
  - 5 さとうきび畑作物共済の充実・強化を図る。
  - 6 WTO・EPA交渉への万全な対応と国内対策を講ずる。

原案可決

**さとうきび価格・政策確立に関する意見書(概要)**

政府は5月28日、沖縄県の頭越しに米軍普天間飛行場の移設先を「沖縄県名護市辺野古崎地区及びこれに隣接する水域」にすることを明記した「日米合意」の共同声明を出した。これは、米軍普天間飛行場「県内移設」に断固反対という沖縄県民の総意よりもアメリカ政府の意向を最優先。民主主義を根底から

踏みにじる暴挙であり、沖縄県民を愚弄するもので断じて許せない。  
北谷町議会は町民、県民の生命、財産、安全を守る立場から、「県内移設の日米合意」に激しく怒りを込めて抗議し、その撤回を強く要求(要請)する。

- 記
- 1 現行糖価調整制度の堅持と財源確保
  - 2 さとうきび経営安定対策における交付金水準を維持する。
  - 3 甘しや糖企業の経営安定対策を講ずる。
  - 4 さとうきび生産振興対策の充実を図る。
  - 5 さとうきび畑作物共済の充実・強化を図る。
  - 6 WTO・EPA交渉への万全な対応と国内対策を講ずる。

**5・28日米共同声明 白紙撤回要求決議のお願い。**

「沖縄の「基地と行政」を考える大学人の会」からの陳情提出を受け、陳情者からの趣旨を理解し全会一致で採択。

# 一般質問



**Q フィッシャリーナ共同事業グループ北谷ブルーリゾートを開発業者に決定したいきざつは**

**A 処分計画に基づき、公募による公平公正な手続を経て本町が処分相手を決定**



大領 勇議員

**問** 会議録はあるか、見ることが出来るか。  
**答** 企業情報等も含まれるため公表は行っていない。

**問** 国家公務委員は業者から接待を受けた場合、一定額以上は報告義務があるが本町はどうか。町長の見解は。  
**答** 地方公務員法を遵守し職務にあたる。万一法第29条に抵触する行為があった場合は「北谷町職員の懲戒処分の指針」に基づき、懲戒処分にする。

**問** 公募に参加していない企業に対し、北谷町が

**問** 着工、開業が遅れることでの町の損失は。  
**答** 一年の開業延期を承認したものであり、町の損失とは考えていない。

**問** 道路行政について  
① 旧ユニオン前交差点、右折帯が必要と思うが。  
② 地主との交渉は。  
③ 右折帯の新設計を進めて欲しい見解を伺う。

**問** 北谷町からの買値で販売したこと。証拠は。  
**答** 北谷町と株式会社リーテック及びオリックス不動産株式会社の三者による覚え書きに、土地売買代金は、土地代金と町が認められた諸経費等を加算した額を超えてはならないと明記されている。  
平成21年1月21日、西海岸活性化特別委員会でも報告。後日提出された契約書の写しを確認している。

**問** リーテックからオリックス不動産への転売は埋立法違反と指摘する。なぜ転売を認められたか。買戻し特約を行使し、買戻すべきではなかったか。  
**答** 株式会社リーテック



ホテル建設予定地(フィッシャリーナ地区)

## Q こども医療費(通院)無料化を中学校卒業までの拡充は

**A** 現行の制度は県内でも高水準。中学校卒業までの無料化は、財源の確保が困難



渡久地 政志 議員

**問** 県の一医療機関千円負担の凍結は。  
**答** 経済状況の悪化など踏まえ平成21年度は見送り。県では、平成23年度に改正の予定ない。

## 待機児童解消は

**問** 町公立2保育所統合の進捗よく状況は。  
**答** 町公立保育所整備計画検討委員会設置。2回にわたり整備方針の検討及び内容審議。基本整備計画として老朽化した栄口・上勢保育所を現在の上勢保育所用地に統合整備。喫緊課題の発達支援目的の施設を併設。整備統合について保護者説明会を



上勢保育所用地に統合される(栄口・上勢保育所)

実施後、検討委員会にて審議、計画決定。

## 子ども手当は

**問** 町内で子ども手当を申請していない数は。  
**答** 世帯数は235世帯。ほとんどが公務員世帯や他市町村で保護者が受給。実数は3〜4件。

## 非常勤職員の待遇改善は

**問** 町立幼稚園の非常勤職員を来年度から嘱託員としての採用は。  
**答** 現在の学級数は10。5歳児は今後、減少傾向。園児数増加で11クラス以上の継続見込みがあれば嘱託員も検討。

## 道路行政を問う

**問** 町民の直接要請「街灯・信号・カーブミラー」等の要望を受ける窓口設置は。  
**答** 町民の要望は、広く機会を設けて対応。要望・相談窓口として総務課で対応。

## 職員の資格手当は

**問** 民間会社同様、職員のスキルアップのために資格手当の考えは。  
**答** 自主研賛、資格取得は業務執行上大切。町は内部研修、県自主研修所、市町村アカデミー等への研修派遣で職員の資質向上に努力。資格手当については考えてない。

## Q 認可外保育園への本町の単独助成事業は

**A** 平成23年度予算計上に向け、助成制度を決定していく



仲地 泰夫 議員

## 子育て支援政策を問う

**問** 待機児童対策を問う。  
**答** 平成26年度までに150人程度の定員拡大を目標として、平成23年4月においては、愛育保育園の改築整備により、30人の定員の拡大を予定。  
**問** 公立保育所と認可保育園、認可外保育園の児童1人当たり、年間保育料を問う。  
**答** 平成21年度決算においては、平均で公立保育所が約130万円、認可保育園が約99万円。認可外保育施設への町からの助成額は、約2万円。  
**問** 国の子育て新システムで保育のシステムが大

## 火葬場建設を問う

**問** 今後の取組と新川墓地公園内へ建設をする考えはないか。  
**答** 新たな枠組みとして、連絡調整会議を宜野湾市、西原町、北中城村、中城村及び北谷町の5市町村で行っている。墓地公園内への建設は、敷地確保が無理と考える。

## Q 国保税、介護保険料の減免制度は

**A** 国保税については特に必要が認められる者についてはある



中村 重一 議員

**問** 本町における国民健康保険、介護保険制度の①加入状況、②財政状況、③保険証の交付状況④運営の見通しを問う。  
**答** ①平成22年8月末現在、1万532人、5千127世帯。②毎年赤字、滞納は、733世帯。③短期証交付世帯、307世帯。資格証書交付世帯はない。④今後、財政状況は一層厳しくなっていく。介護保険制度は、平成22年8月末現在で、第1号被保険者が4千165と

## 学校給食センターの建替え、食器の改善問う

**問** 今後も町営を維持していく考えはあるか。  
**答** 検討委員会を設置して検討したい。  
**問** 建て替えの計画は。  
**答** 課題を整理した上、町内部で協議していく。  
**問** 建て替え前にも食器の改善が必要と考えるが、今年度予算で、現在使用中の汁椀の食器を取り替える。ランチ皿の改善は、食器の数、保管スペースの確保や配送時間の増大等で問題がある。



建替えが待たれる給食センター

実は国保の財政状況からして厳しい。  
**問** 雇用と地域の活性化は  
**答** 町独自の緊急雇用対策を実施する考えは。  
**問** 本町では沖縄県緊急雇用創出事業臨時特別基

金等を活用して、平成21年度〜23年度にかけて地域休職者や失業者の雇用創出に向けた事業を実施している。  
**問** ①町公共施設管理校舎の雇用状況は。②増員の考えは。  
**答** ①事務局長を除いた職員6人、嘱託員4人、臨時職員12人、現業職員48人の常用労働者計70人町内在住者が勤務している。②検討していきたい。

**問** 歴史資料館の建設と北谷城の復元を問う  
**答** 早期建設は。  
**問** 平成31年に開館の予定。早めの建設は財政上厳しい。  
**問** 北谷城の復元と北谷城祭りを実施しては。  
**答** 北谷城は、国指定の史跡公園として調査研究を進めたい。北谷城祭りは、整備を行った後に検討したい。

**問** 教育委員会の人的体制を問う。  
**答** 係長、専門職員4人、嘱託員等の職員体制で取り組んでいる。

**美浜公共駐車場**の夜間の警備体制や騒音対策、青少年健全育成への影響は  
**問** 早い時間の閉場の考えは。  
**答** 閉場時間を含め、公共駐車場の適切な管理



信号機の設置が待たれる県営桑江団地前横断歩道

**問** 国保税の減免制度の充実を図る考えは。  
**答** 今後の減免制度の充

**問** 国保税の減免制度の充実を図る考えは。  
**答** 今後の減免制度の充

## Q 安心いごども基金在宅就労支援制度はどうか活かすか

**A** 沖縄県ひとり親家庭等在宅就業支援事業として予定

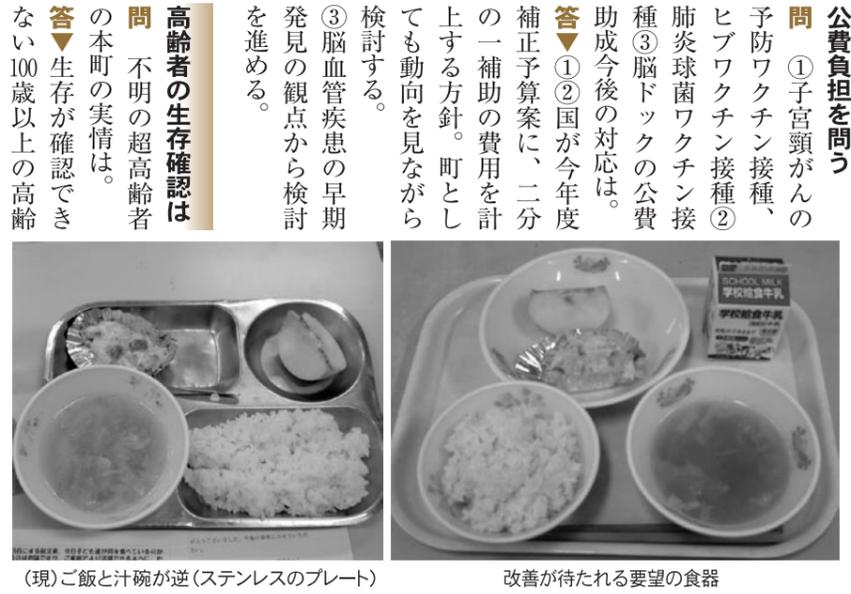


玉那覇 淑子 議員

**問** ひとり親支援にどうつながっていくか。  
**答** 一定の収入が見込めるホームページ製作とITを用いた在宅就業を推進。生活安定につなげていく。

**問** 父子家庭への児童扶養手当が支給される。手続は周知徹底されているか。  
**答** この医療費助成事業は、所得の制限を設けていないため、対象でない者、又は申請していない父子家庭は把握が出来ないことから広報活動を行い、周知を図っている。  
**問** 沖縄県は第三次産業の従事者が多いことから、夜間保育・夜間の学童保育が必要と考えられるが、需要の調査はされているか。  
**答** ①保育料、給食費等が増加している。子どもの貧困調査はされているか。  
②給食費、教材費の無償化はできないか。  
③学級担任は幼児児童生徒の家庭の状況を、教育委員会は、就学援助や幼稚園就学奨励費の給付で、その数を把握している。保育料は、保護者の所得に応じた追納負担の学校では要保護、必要保護制度を行う。義務教育

教科書無償給付制度で無償。②給食費の無償化は財政的にも厳しい。  
**問** 給食費の無償化を進めている自治体はあるか。  
**答** 18年度から、埼玉県小鹿野町で、平成21年度から無料化が他に2、3の市町村で実施されている。  
**問** 予防医学ワクチン接種の公費負担を問う  
**問** ①子宮頸がんの予防ワクチン接種、ヒブワクチン接種②肺炎球菌ワクチン接種③脳ドックの公費助成今後の対応は。  
**答** ①②国が今年度補正予算案に、二分の一補助の費用を計上する方針。町としても動向を見ながら検討する。  
③脳血管疾患の早期発見の観点から検討を進める。  
**問** 不明の超高齢者の本町の実情は。  
**答** 生存が確認できない100歳以上の高齢者は、48人記録されている。不自然な戸籍はどう修正されるか。  
**答** 戸籍の附票に住所の記載がない120歳以上の超高齢者を戸籍上死亡とするように通知があり、本町においても法務局と協議の上、4人の方の除籍の手続を進めている。



(現)ご飯と汁碗が逆(ステンレスのプレート)

改善が待たれる要望の食器

## Q 字砂辺に所在する国有地の利用活用は

**A** 現在無償貸与の方向で、国・県と進めていく



洲鎌 長榮 議員

**問** 当該地は無償譲渡か無償貸与を受ける方が計画事業の早期進捗よくにつながるかと考えるが現在の状況は。  
**答** 6月定例会以降、進捗はよくはない。今後、協議を重ねていきたい。  
**問** 火葬場に代わる補償制度の創設を問う  
**問** 近隣市町村と調整しながら建設に代わる補助制度を創設し、町民の負担軽減を図るべきではないか。  
**答** 他市町村と合同で建設していく方針であるが、建設には時間を要するため、その間火葬費用の補償を創設する。  
**問** 管理公社の今後の方向性は  
**答** 管理公社の運営等は、今後どのようにするか。  
**問** 現在の管理公社が存在するためには、平成25年11月末までに、公益財団法人又は一般財団法人へ移行しなければならぬ。  
**問** 町民は年間どの程度火葬場を利用しているか。  
**答** 10年間の年間死亡者数は、年平均150人前後となっている。

## Q 上勢区内道路の安全確認は

**A** 関係機関との調整を図りながら対策を検討したい



仲栄 真恵美子 議員

**問** 桑江中央線に面する県営桑江団地入口への信号機設置は。  
**答** 当該現場の交通事情は大変厳しい状況であることは認識しており、以前に沖縄警察署へ信号機設置要請書を提出している。  
**問** 桑江中央線と交差する上勢頭47号線のスピード制限を行う施工の有無は。  
**答** 上勢頭47号線は沖縄市へ抜ける迂回路として利用が多く、桑江中央線から上勢頭47号線へ右折する際の車両の速度が加速され、対向車との事故も懸念される。桑江中央線の右折帯の処理あるいは車両の通行帯への凹凸

## 社会教育団体の育成、特に町女連を問う

**問** 現在の北谷町女性連合会の実態は。  
**答** 会員が減少している状況であり、背景には情報化や女性の社会進出による共働き家庭の増加及び核家族化、趣味の多様化、役員のなり手がいない等がある。  
**問** 加盟行政区と会員数は。  
**答** 行政区は栄口区、謝荊区、北玉区の3行政区で会員数は、栄口区36人、謝荊区44人、北玉区17人、個人会員9人の合計106人。

## 一般質問

**保育行政を問う**  
**問** ①愛育保育園の改築で、待機児童はどの程度改善され、全体的には保育ニーズはどのような状況か。  
**答** 現在の120人



管理公社の存続の方向性は

ないが、移行については原則、管理公社の理事会及び評議会において、意思決定される。しかし、町としては設立趣旨及び現在の果たしている役割からして、解散ではなく、公益財団法人又は一般財団法人として、存続する方向で検討していただいていると考えている。  
**問** 職員体制及び指定管理の関係は。  
**答** 特別職事務局長1人、雇用職員6人、嘱託員4人、臨時職員12人、現業職員48人、計71人。指定管理業務及び受託業務の量により、職員体制は変動する。



ドラッグイレブン前抜け道



## Q 県主催総合防災訓練の成果は

**A** 災害発生時における初動体制の具体的なイメージができた



金城紀昭議員

**問** ①北谷町が参加する目的、役割、②参加した団体、人数、③課題は。

**答** ①防災関係機関の連携を確認し住民の防災意識の高揚と職員の災害発生時に対する対策の向上。②自治会、町内関係機関18団体、延べ1千350人余。③町内各団体へ参加を呼びかけ、継続的に訓練を計画実施し、本町防災行政の推進を図る。

**問** 北谷町で震度6強の被害と想定で、①予想される被害の内容。②対策は。

**答** ①道路の決壊や建物等の倒壊、液状化による被害、津波による浸水被害等。②北谷町災害対策

本部設置、避難勧告発令、自衛隊及び医療団の派遣要請、各消防本部に応援要請、沖縄県建設業協会に対し道路決壊応援要請、避難所開設、災害ボランティア受付、災害救助法適用の申請と関係機関への情報伝達等を行う。

**問** ①石綿とは。②人体に与える影響は。③予想される被害の内容は。

**答** ①天然に産する繊維状ケイ酸塩鉱物。②大量に吸った場合人体に悪影響。WHOから発がん性があると警告。③肺繊維症、肺がん、腫瘍である悪性中皮腫等。



美浜で行われた県・町合同の防災訓練

される被害の内容は。

**問** 白比川の河川改修は暫定遊水池建設の内容の詳細は。

**答** 洪水時に河川からの水を流入させ、一時的に貯留し浸水被害の軽減を図る。

**問** 県に要望している改修工事の内容、完成時期は。

**答** 延長約870m、幅約26m、深さ約3.6m。完成時期は平成29年度。

**子宮頸がんの予防接種は**

**問** 公費助成の実施を検討する市町村も増えているが、本町の実施予定は。

**答** 実施する方針で検討している。

**問** ①対象年齢、人数、経費の見込。②実施時期は。

**議長就任あいさつ**

みやざと ともね  
**宮里 友常 議長**

このたび、議会改選後の議会構成に当たり、不肖、私が議長選挙において引き続き第九代議長の職に就くことになりました。私自身にとりまして身に余る光栄であるとともに、その責任の重さをひしひしと感じている次第であります。

議長の職責を果たすには、議員各位の御支持と御協力が不可欠であります。もとより微力ではありますが決意を新たに、北谷町の振興、発展と住民福祉の向上に誠心誠意、努力いたす覚悟であります。

議会は、それぞれ主義主張、異にする議員によって構成されています。議長としての職務を行うに際しては、お互いの人格と名誉を尊重し、中立公平を最大最終の目標として対処する所存であります。

また、議会といたしましても果たすべき役割と責任を自覚し、北谷町の更なる発展に最大の努力をさせていただきます。

町民の皆様への御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

北谷町議会議長 宮里友常

## 第九代 議会構成

議長 宮里 友常

副議長 中村 重一

### 総務財政常任委員会

委員長 喜友名朝眞  
副委員長 大浜ヤス子  
委員 仲地 泰夫  
〃 稲嶺 盛仁  
〃 田場 健儀  
〃 仲村 光徳

### 経済工務常任委員会

委員長 金城 紀昭  
副委員長 照屋 正治  
委員 渡久地政志  
〃 洲鎌 長榮  
〃 大嶺 勇  
〃 新城 幸男

### 文教厚生常任委員会

委員長 亀谷 長久  
副委員長 玉那覇淑子  
委員 仲栄真恵美子  
〃 與儀 誠  
〃 平良 徹夫  
〃 中村 重一

### 議会運営委員会

委員長 田場 健儀  
副委員長 洲鎌 長榮  
委員 金城 紀昭  
〃 喜友名朝眞  
〃 新城 幸男  
〃 亀谷 長久

### 基地対策特別委員会

(平成22年9月28日設置)  
委員長 渡久地政志  
副委員長 照屋 正治  
委員 金城 紀昭  
〃 仲栄真恵美子  
〃 玉那覇淑子  
〃 田場 健儀  
〃 大浜ヤス子  
〃 喜友名朝眞  
〃 中村 重一

### 議会広報調査特別委員会

(平成22年9月28日設置)  
委員長 玉那覇淑子  
副委員長 渡久地政志  
委員 仲栄真恵美子  
〃 與儀 誠  
〃 大嶺 勇  
〃 平良 徹夫

### 中部広域市町村圏事務組合議会議員

宮里 友常

### 監査委員

仲村 光徳

### 倉浜衛生施設組合議会議員

洲鎌 長榮 喜友名朝眞

### 沖縄県介護保険広域連合議会議員

玉那覇淑子

### 比謝川行政事務組合議会議員

宮里 友常 仲地 泰夫  
稲嶺 盛仁

### 育英会理事

仲栄真恵美子 渡久地政志  
與儀 誠 大浜ヤス子  
平良 徹夫

### 沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員

玉那覇淑子

### 沖縄県市町村総合事務組合議会議員

宮里 友常



写真左から三列：新城 幸男(しんじょう ゆきお)、仲地 泰夫(なち やすお)、仲村 光徳(なかむら こうとく)  
渡久地 政志(とくち まさし)、照屋 正治(てるや まさはる)、田場 健儀(たば けんぎ)、稲嶺 盛仁(いなみね せいじん)  
二列：大嶺 勇(おおみね いさむ)、平良 徹夫(たいら てつお)、與儀 誠(よぎ まこと)  
喜友名 朝眞(きゆな ちようしん)、洲鎌 長榮(すがま ちようえい)、金城 紀昭(きんじょう のりあき)  
一列：亀谷 長久(かみや ちようきゆう)、大浜 ヤス子(おおはま やすこ)、中村 重一(なかむら しげいち)  
宮里 友常(みやざと ともね)、玉那覇 淑子(たまなは ひでこ)、仲栄真 恵美子(なかえま えみこ)

# 広 報 委 員 紹 介

より多くの情報を分かりやすく、正確に、よりスピーディーに届けます！  
町民と議会の架け橋をめざします！

写真右から  
委員 仲栄真恵美子 (なかえま えみこ)  
副委員長 渡久地 政志 (とぐち まさし)  
委員長 玉那覇 淑子 (たまなは ひでこ)  
委員 大嶺 勇 (おおみね いさむ)  
委員 平良 徹夫 (たいら てつお)  
委員 奥儀 誠 (おくぎ まこと)

「議会だより」は私たちが  
担当します。4年間よろしく。



## インターネットで町議会を知ろう!!



議会傍聴の案内  
平成22年度12月定例会  
開会予定日  
12月10日(金)

議会の日程についてもホームページでお知らせしております。



詳細は北谷町ホームページで  
検索サイトで

北谷町議会  検索

あなたも町議会を  
傍聴してみませんか?



北谷町ホーム  
ページアドレス

<http://www.chatan.jp>

【お問い合わせ】 議会事務局 ☎936-3382 FAX 936-9712

### 編集後記

去る9月15日、町民の付託を受けた、第九代北谷町議会議員の当選証書付与式が行われました。議員の改選後、初の議会が9月28日に開会され、21年度一般会計・特別会計の決算審議を始めとする、22年度の補正予算、条例改正、陳情等々が審議されました。終盤は議員の檜舞台とも言える一般質問で町政を問う熱いバトルが繰り広げられ、約二週間の会期を閉じました。

今号は、新たに構成された新人議員3人を含む6人の議会広報委員が、それぞれの役割を担い奮闘した初の「議会だより」です。作業は「より早く、より解りやすく、より正確に」をモットーに進められてきました

が、紙面や字数に限りがあることから、特に一般質問などは「省略」の難しさに頭を悩めること必至でしたが、甲斐あって充実した広報紙をお届けすることができました。今後更に研鑽し「町民に親しまれる議会だより」を目指して委員一同頑張る決意です。

町民の皆様もどうぞ関心を持って、御意見や御感想、御要望などお寄せ下さいましたら幸いです。

なお、議会の模様は詳しく「議会議事録」で公開していますので議会ホームページも併せて御参照下さい。また、議会傍聴へもどうぞお気軽に御来場下さいますよう御案内いたします。

広報委員長 玉那覇 淑子

北谷町議会事務局

電話: 936-3382  
FAX: 936-9712

【意見・感想はこちらへ】